

評価方法と評価基準

2020年2月14日

坂本智幸

レポート作成要領

- 担当教員が担当する講義・演習のうち成績評価をレポートで行う場合に適用される(ただし、講義・演習独自の要領が付加される場合があるが、その際は講義内において指示する)
- シラバスに記載の字数制限を必ず守ること(図表・参考文献は字数制限には含めない)
- レポートの構成は節・項立て(見出しのレベルを2段階まで)とする
- レポートには1ページ目にレポートのテーマや内容を端的に表したタイトルと学籍番号、氏名を記入しなければならない
- 文体は「である調」とする
- 図・表には、図表タイトルと通し番号を必ずつけ、本文でそれらを適切に用いなければならない
- 参考文献は最低5冊以上とする。
- 参考文献を引用する際、レポートで引用した文献・資料のみを参考文献リストに記し、それらを適切に引用しなければならない。
- 参考文献の引用に関連して、「事実の記述」と「意見の記述」は明確に区別して執筆すること。また「意見の記述」に際しては、意見の根拠(となる事実)と、その意見(推論や仮説)を立てるに至る筋道をきちんと書かなければならない。
- 講義期間中に配布する提出用の書式が保存されたワードファイルで作成すること

評価

- レポートの図表や参考文献と引用などを含めたレポート文章に関する評価は、以下の書籍で書かれていることが全ての基準になる。提出されたレポートは、この基準から逸脱する箇所を(100点から)減点方式で評価する。

<評価基準となるテキスト>

木下是雄(1997)『レポートの組み立て方』, 筑摩書房.

- 参考として別紙に2019年2月時点における評価項目と減点の一覧をまとめておく

【別紙評価項目と減点の一覧】

2019年2月14日

必須事項

No.	減点事項	減点事項の説明・具体例	減点
1	提出期限の遵守	教学センター，及び Moodle（ファイルのみ）への提出期限を過ぎた場合	未受験
2	提出物の不備	①プリントアウトしたものを教学センターへ， ②ワードファイル（PDF 形式は不可），エクセルファイルは Moodle へ期限内に提出，③提出に際して提出者を判別する情報の不足	-100 点
3	作成要領を満たさない	①引用文献数の不足，②指定データを用いた図表の未作成	-100 点
4	作成要領を満たさない	①見出し項目の変更・修正（見出し項目に沿った記述），②文字数条件	-100 点

独創性

5	テーマの設定	主題，内容，手法に独創性がない	-5 点
6	分析・考察	創意工夫に満ちた分析や考察がない．根拠のない意見に終始している．執筆者の無価値な主観的な思いの羅列	-20 点
7	剽窃	抜き打ちで行う剽窃テストで 75%一致と判定されたレポート	-100 点

有用性

8	主題・内容・結論	適切な考察に基づく結論が時宜を得ていない．	-10 点
---	----------	-----------------------	-------

完成度

9	レポートの構成	全体の構成が不適切	-10 点
10	目的・結果	目的と結果が不明確	-10 点
11	先行研究	先行研究・技術との関連性は不明確	-10 点
12	文章等	文章表現が適切でない文章や，冗長な文章	-10 点
13	図表における不備	図表が分かりにくい，無意味な図表の掲載した場合．	-5 点 / 1 か所
14	文献リスト，引用スタイル	文献リストの作成不備，分かりにくい引用	-5 点 / 10 か所

15	その他レポートの不備	文字入力の際のタイポ(typographical error)など	-5 点/10 箇所
----	------------	-----------------------------------	---------------

信頼度

16	専門用語の誤り	(例) エネルギー安全補償, 電機料金, など	-5 点/1 か所
17	図表の説明に関する誤り	増加傾向を示すグラフに対して, 本文において減少していると記述するなど, 明らかな図表の解釈ミス.	-5 点/1 か所
18	文献レビューの誤り	(私を知る, あるいは調べる限りにおいて) 明らかに文献に記載のない事実や意見等を誤った引用した.	-5 点/1 か所
19	論述内容の不整合	テーマに関連した自身の仮説, 文献レビュー, データ, レポートの結論などの間で論理的なつながりを見いだせない論述.	-10 点/1 か所
20	引用先の誤り	先行研究の文献や, 図や表の内容を説明する際に引用先を間違っている (→A 氏の書籍を引用したのに, B 氏としている. 表 2 を指して図 3 を論述している, 等)	-1 点/1 か所